

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>



JF
香川漁連

高松市北浜町 8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699

おさかな大使通信

「かがわの食」魅力体感プロモーション In 東京 開催

1月24日（金）に東京都の八芳園にて「かがわの食魅力体感プロモーション」に参加しました。香川おさかな大使としてオリーブサーモンのPR、また関東の様々な業種の方との商談を行いました。

ステージPRでは、香川県出身俳優の今里真さんとの対話や映像を通して、香川の水産物の魅力、オリーブサーモンの特徴などを多くの方に知っていただくことができました。また八芳園のシェフによるオリーブサーモンを使用した前菜の提供もあり、言葉や映像だけでお伝えするのではなく、味で感動をお伝えすることができたと思います。その後は、畜産物や青果など香川が誇る食を美味しい料理で楽しむことが出来ました。

今回のプロモーションでは、これまでの活動とは違い、多くの流通や販売に携わる方々とお話しでき、とても貴重な経験となりました。香川県産水産物の魅力を知っていただきたいという思いもより一層強くなったと思います。また香川とは離れた場所で、地元である香川県の食に注目していただけることは一県民として、とても光栄でした。香川おさかな大使としての自覚を持ち、残りの活動期間も尽力していきます。（山本 ひなの）



新ノリ祭り 開催

2月2日（日）節分の日にはイオンモール高松にて新ノリ祭りを開催しました。11時と12時30分からの計2回、小学生以下のお子さんと保護者様30組でジャンボ恵方巻きを作りました。また、15時30分からは50名の参加者の皆様とノリの〇×クイズをしました。他にも、初摘みノリ販売も行われ、盛りだくさんなイベントでした。

ジャンボ恵方巻きでは、約12メートルの恵方巻を作り、「せーの！」という掛け声で、一斉に巻きました。上手に作った恵方巻を子供たちが黙々と一方向を向いて食べる姿は、とても可愛かったです。ノリの〇×クイズは、みなさんのノリの知識が高く、なかなか不正解の人が出なかったのが、驚きました。見事正解して残った方は、香川県産ノリの豪華賞品を嬉しそうに受け取っていました。このイベントを通じて、香川のノリの美味しさだけでなく、ノリについても知っていただけて、やりがいを感じました。私も〇×クイズで、より一層ノリについての知識が増えました。イベントを通じて自分自身がどんどん成長できていることを感じて、嬉しかったです。

（橋本 桃奈）



香川の美味しい初摘み海苔をご自宅でもぜひご賞味ください！

IoTを活用した牡蠣 誕生イベント開催

2月14日（金）ワーサン亭前にて、IoTを活用した牡蠣の販売開始を記念して誕生イベントが開催されました。式典は、引田漁協 網本組合長、上村東かがわ市長が主催者となり、池田香川県知事をはじめ漁連嶋野会長、渡邊東かがわ市議会議員、花崎香川県議会議員、鏡原香川県議会議員が来賓として参加されました。

東かがわ市引田の安戸池で2023年から試験養殖を行ってきたこの牡蠣は「ADOMILK（アドミルク）」というブランド名で、2月15日から土日限定で生食用として販売されます。アドミルクの養殖は、市や引田漁協、ソルトレイクひけたなどがタッグを組み、水産業の持続的発展事業として取り組まれています。IoTを駆使して海水の状態や育成状況などのデータ収集と解析をしているのが特長で、アプリで最適作業を提案することができ、またIoTセンサーで環境モニタリングが可能で漁業者の端末で閲覧ができるというデータ連携を活用したスマート水産業を実施しています。



式典後は、ワーサン亭にて試食会が行われました。アドミルクは最短6ヵ月で出荷可能で、提供前に浄化槽に18時間以上つけて牡蠣の中の菌を出すため安全に食べることが出来るということです。



避難訓練を実施



2月5日（水）漁連職員を対象とした避難訓練を高松市消防局高松北朝日分署の方を講師に向かえ、実施しました。

今回は地震発生に伴う火災を想定して避難訓練を行い、避難を呼びかける館内放送が流れてから、1階に全員が避難するまでに要した時間を計りました。まず、緊急地震速報アラーム音が聞こえたら、①机の下に隠れ、頭を保護する等の身を守る行動をとる ②激しい揺れが継続している間は、安全な場所で退避状態のまま静かに待つ ③揺れが収まり、避難行動を開始できる状況になれば、決められた避難場所へと慌てず移動する、に従い行動します。

この日の避難訓練では、火災発生のアナウンスから全員が1階避難場所へ集まるまで3分50秒かかりました。日頃から、家庭でも職場でも、地震が発生した際の行動や避難場所をよく確認しておきましょう。

次に、消火栓ボックスの使用方法を確認した後に使用訓練を行いました。消火栓ボックスの使い方は① 起動ボタンを押す（ポンプが起動して、火災を知らせるベルが鳴ります。表示灯が点滅に変わります）② 扉を開ける（ホース架けを手前に引き出します。ノズルを取るとツメが外れてホースが下に落ちます）③ ノズルを持ち、ホースを火点に延ばす（ノズル担当はノズルとホースを抱え、ホースを延ばしながら火元へ向かいます）④ 放水する（ノズル担当はホース延長後、バルブ操作担当に放水はじめの合図を送ります。バルブ操作担当は放水はじめの合図でバルブを開け送水します）火の勢いが強い場合は無理をせず、避難してください。



この機会に、設置されている消火栓設備の使用方法を確認し、緊急時に備えましょう。